

第20回定例会 一般質問登壇順（決定）

登壇順番	議席番号	氏名
1	11	刈田 敏
2	2	真嶋 実
3	8	高橋 宏
4	3	普本 歌織
5	6	唐仁原 俊博

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	5 番
				通 告 書 受理月日	令和 8 年 5 月 29 日 午前・午後 3 時 45 分

令和 8 年 6 月 第 20 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 8 年 5 月 29 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 11 番

刈田 敏



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 農業体験について	<p>本町が誇りとする自然の豊かさを活用して考えられるものとして「農業体験」、「農業体験ツアー」等があげられるが、本町が行っている農業体験の現状と今後の方針について伺う。</p> <p>(1) 食物や自然の大切さ、農業への理解を深める食育の一環としての児童生徒への農業体験の現状について伺う。</p> <p>(2) 児童生徒に対する農業体験は長期的に見て必要不可欠と考えるが、町としての農業体験のあり方について考えを伺う。</p> <p>(3) 産業振興の面における、自然の中で心身共にリフレッシュできる、地元食材を活用した料理教室等を盛り込んだ農業体験ツアーについて。</p> <p>(4) 生涯学習教育において地域づくりの観点から、世代間の交流や農業の現状を知るための農業体験は重要であると考え。生涯学習の一環として農業体験を学ぶ機会を設けてはどうか。今後のあり方について伺う。</p>	町 長 教育長

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	/ 番
				通 告 書 受理月日	令和 8 年 5 月 29 日 午前・午後 10 時 22 分

## 令和 8 年 6 月 第 20 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 8 年 5 月 29 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員  
議席番号 2 番 真 嶋 実



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 総合型地域スポーツクラブと休日部活動の地域移行について	<p>総合型地域スポーツクラブは、第2次西和賀町教育振興基本計画の主要施策として位置づけられており、休日部活動の地域移行の受け皿として、学校教職員の働き方改革の課題解決策としても強く期待されているところである。</p> <p>については、同事業の進展状況、課題、今後の展開方策について伺う。</p> <p>(1) 総合型地域スポーツクラブの設置について、昨年6月定例会で普本歌織議員の一般質問に対し、令和7年度中の設置に向け取組を進めるとの答弁がなされている。現時点での組織整備状況を伺う。</p> <p>(2) 岩手県は「中学校の休日の部活動について、今年度から2028年度までの3年間で、全ての市町村で地域展開の実現に向けた取り組みに着手する。」との方針を示したが（5月26日のNHKニュースによる）、県の施策方針を受け、本町に今後求められる課題は何か。</p> <p>(3) 保護者等への説明について、昨年6月定例会において普本歌織議員の一般質問に対し「総合型地域スポーツクラブについては 検討委員会を設置し、具体的な内容について詳細を現在検討しており、それらを整理して説明し、保護者等へ不安を解消する機会を設けたい。」との答弁だったが、検討委員会の実施経過と検討内容を伺う。また、保護者等への説明機会は設けられたか。</p> <p>(4) 町内にある体育・運動施設の管理運営を効果的に行う視点から、総合型地域スポーツクラブの役割についてどのように考えているか。</p> <p>(5) 総合型地域スポーツクラブ設置の一環として、昨年度からスポーツ教室を町が主催する形で試験的に運営しているが、現時点での成果と課題をどのように検証しているか。総合型地域クラブの機能としては「スポーツ教室」「休日部活動の受け皿」のほかに、既存のスポーツ少年団のような地域クラブ活動や文化活動、地域づくり</p>	町 長 教 育 長

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 総合型地域スポーツクラブと休日部活動の地域移行について	活動まで様々な形態と可能性があると聞いたが、西和賀町で活動を具体化していくに際して、どのような展開を考えているか。	町 長 教育長

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	2 番
				通 告 書 受理月日	令和 8 年 5 月 29 日 午前・ <del>午後</del> 12 時 45 分

令和 8 年 6 月 第 20 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 8 年 5 月 29 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 8 番

高橋 宏



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 地域委託型集落支援員制度について	<p>今年度から地域委託型集落支援員制度を開始したが、制度導入にあたっては地域から不安の声が聞かれる。今後の制度推進について伺う。</p> <p>(1) 現在いる集落支援員は廃止する予定か。</p> <p>(2) 第 3 次西和賀町総合計画内第 4 節生活環境・基盤(1)地域コミュニティの維持・活性化における成果指標で、地域づくり計画の策定目標は令和 6 年度末の 1 地域から令和 12 年度末では 7 地域となっている。地域委託型集落支援員の配置目標も同じか。</p> <p>(3) 地域で支援員を採用するまでに必要な手続きは、どのような流れになっているのか。</p> <p>(4) 社会保険・労働保険の手続きへの事務的支援はあるか。また、社会保険労務士などのサポートを受けた場合の補助金支給はあるか。</p> <p>(5) 兼任型集落支援員が会社等で社会保険に加入している場合でも新たに社会保険への加入は必要か。</p> <p>(6) 地域委託型集落支援員ができることは、</p>	町 長

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 地域委託型集落支援員制度について	①環境整備・有害鳥獣対策のための草刈り ②高齢者世帯の除雪 ③高齢者等の買い物支援 ④土日の地域行事への参加、支援 ⑤地域と町とのパイプ役 などと認識しているが、同支援員ができないことはあるか。	町 長

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	3 番
				通 告 書 受理月日	令和 8 年 5 月 29 日 午前・午後 12 時 53 分

令和 8 年 6 月 第 20 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 8 年 5 月 29 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 3 番

普本 歌織



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答弁を 求める者
1 沢内地区小中学校の一貫校検討の進捗について	<p>(1) 沢内地区小中学校は一貫校化し、新校舎を太田地区に建設する計画で進んでいると認識している。今年度はどのような計画で進める予定か。</p> <p>(2) 令和 8 年 3 月議会での私の一般質問に対し、「小中一貫校のあり方、特に西和賀の特色を地域活力につなげる取り組みについて内部検討を進めている」との答弁であった。現在の検討状況を伺う。</p> <p>(3) 小中学校の保護者やこれから小中学校の保護者となる保育所の保護者への周知や意見聴取はどのように行う予定か。</p>	町 長 教育長
2 保育所統合後の通所支援について	<p>町の保育所（園）は、令和 8 年度に統合し、1 園の統合体制が開始されている。保育所統合の検討委員会の答申では、統合に伴い、送迎距離が長くなる保護者への送迎支援の必要性が盛り込まれており、令和 7 年 6 月議会での私の質問に対し、保護者へのヒアリングを行い、負担軽減策を検討するとの答弁であった。検討の結果と具体的な対策について伺う。</p>	町 長 教育長
3 湯田地区保育園の新園舎建設について	<p>湯田地区保育園の新園舎は令和 8 年度に着工し、令和 9 年度供用開始の予定であると認識している。今年度はどのように進める予定か。</p> <p>資材の調達等問題なく行うことができる見通しか。</p>	町 長 教育長

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4 保育園留学について	<p>保育園留学は、令和8年度予算審議の中で、受け入れ園をせんだん保育所とし、今年度9月頃より受け入れを開始する予定との説明であった。</p> <p>(1) 予定が前倒しになり7月下旬から受け入れを開始することとなったと認識している。変更の経緯を伺う。</p> <p>(2) 利用者の滞在場所はどの施設を利用する予定か。</p> <p>(3) 利用者の滞在期間は1～2週間と認識している。どのような体験を提供できる見通しか。</p> <p>(4) 受け入れ園であるせんだん保育所との連携は十分とれているか。物的環境、人的環境ともに十分な準備ができているか。</p> <p>(5) 利用者が安心して滞在するためには、地域の協力が不可欠である。地域住民への周知はどのように行う予定か。</p>	町 長 教育長
5 教育留学の検討について	<p>令和8年3月議会での私の一般質問に対し、「西和賀町の教育環境を生かした教育留学のあり方について検討する」との答弁であった。現在の検討状況を伺う。</p>	町 長 教育長
6 町立西和賀さわうち病院による「いのちの教育」について	<p>町立西和賀さわうち病院では院長による講話を町内の小中学校、県立西和賀高校などで実施していると認識している。西和賀の生命尊重の精神を子どもたちに伝えるためにも重要な事業であると考えるが、今年度は実施される予定か。</p>	町 長

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	ㄨ 番
				通 告 書 受理月日	令和 8 年 5 月 29 日 午前・ <del>午後</del> 3 時 40 分

令和 8 年 6 月 第 20 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 8 年 5 月 29 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 6 番

唐仁原 俊博



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 クマ被害への対応	<p>(1) 本年 5 月、町内でクマによるものと思われる人身被害が発生した。この事案に対し、町が把握していること、町として行った対応を伺う。また、この事案を受け、町がこれまで行ってきたクマ対策に、変更・拡充する点はあるか。</p> <p>(2) 住民や観光客に対する、クマに関する情報発信について、町が感じている課題はあるか。また、それへの対策は講じられそうか。</p> <p>(3) 本年 5 月、岩手県が、指定管理鳥獣捕獲等事業の一環として、クマの指定管理捕獲を通年にわたって実施する方針を示した。本町における実施状況を伺う。あわせて、県との連携全般の状況、課題についても伺う。</p> <p>(4) 令和 8 年度当初予算では有害鳥獣駆除業務委託料の増額や、鳥獣被害を防止するための補助金の拡大や創設が図られた。鳥獣被害防除機材設置補助金、放任果樹伐採事業費補助金、ツキノワグマ撃退用スプレー購入費補助金に関して、問い合わせや申請の状況を伺う。また、今年度補正予算での増額の必要はあるか。</p> <p>(5) 本年 5 月 1 日から 29 日までの期間、町は狩猟免許説明会を実施した。住民の反響はどうだったか。</p>	町 長
2 第三次西和賀町観光振興計画の策定	今年度は第三次西和賀町観光振興計画の策定年度にあたる。	町 長

質問項目	質問要旨	答弁を 求める者
に向けて	<p>(1) 計画策定までにどのような段階を踏むのか、スケジュールと体制を伺う。</p> <p>(2) 第二次観光振興計画や、行動計画にあたる第1次・第2次アクションプランの実施を経て、現時点で、次期計画において変更・重点化すると考えられる施策はあるか。</p> <p>(3) 第二次観光振興計画においては、「本町の強みを活かすためにも、弱みを最小化するためにも、観光客のターゲットを明確化していくことは重要」「個人旅行が主流となった現在では、町や事業者で一律のターゲット設定は難しくなっています。今後はターゲットを細分化して事業を進めていくことが重要」と掲げられている。ターゲット設定のために、これまでどのような調査が行われ、現在の議論はどのようになっているか。</p> <p>(4) マスを取り込める規模の事業者がないこと、来訪者の属性が多様であることが、現在の町の状況だと思われる。重点的なターゲットを設定するにしても、1つのターゲットに絞りきるのではなく、さまざまな属性の来訪者に対して、それぞれ効果的な情報発信や施策を講じていく体制が、町の実情に合っているのではないか。また、小さくとも特色のある事業者を増やしていくことが、多様な来訪者への対応力を高めることにつながると考えるが、町の認識はどうか。</p>	町長
3 観光事業者のクマ対策への支援	<p>観光事業者から「お客さんに見えるかたちでクマ対策をしていると示したい」との声がある。</p> <p>北上市では商工業者が実施するツキノワグマ対策設備整備事業に補助金を用意している。本町でも観光事業者も使える商工業者向けのクマ対策補助メニューを設ける考えはないか。</p>	町長
4 人材マッチングサービスの活用促進	<p>町内では、短期就労と旅を組み合わせたマッチングサービスや、スキマ時間で働ける求人サービスなど、ウェブ上の人材マッチングサービスを活用している事業者がいる。こうしたサービスを通じて町外から来町した方が、その後、バイトとして定着したり、関係人口として長期的なつながりを持つたりする事例がある。</p> <p>人手不足の解消にとどまらず、関係人口の創出、さらには</p>	町長

質問項目	質問要旨	答弁を 求める者
4 人材マッチングサービスの活用促進	移住・定住にもつながりうる、こういったサービスについて、町としてより多くの事業者に活用を広げるため、商工会などと連携し、勉強会や説明会を実施してはどうか。	町長
5 公務員の兼業・副業の弾力化について	令和7年3月定例会において、公務員の副業・兼業について質問したが、その後の対応状況を伺う。また、令和7年6月に総務省から「営利企業への従事等に係る任命権者の許可等に関する留意事項について」として、技術的助言が発出されている。本町では、この総務省通知をどのように受け止めているか。	町長
6 町職員の働き方とキャリア形成について	人手不足により、労働市場は売り手市場となり、事業者は人を集めるため働きがいを高めている。また、労働者は自分の価値を高めるためにキャリア形成に務めている。令和7年3月定例会においても、「手挙げ制でプロジェクトに参画できるような体制を整えてはどうか」など提案を行ったが、その後の対応状況を伺う。また、役場の目指す姿や働き方について、職員間で議論する機会を設けてはどうか。	町長
7 町の広報戦略	現在、町に体系的な広報戦略は存在しないと認識している。町公式サイト下次期更新も見据え、誰に、どのような情報を、どの媒体で届けるかを整理した広報戦略の策定に着手すべきかと考えるが、町の見解を伺いたい。あわせて、一方的な情報宣伝ではなく、パブリック・リレーションズ（相互理解・合意形成に基づく信頼構築活動）の観点を取り入れるべきだと考えるが、いかがか。	町長
8 町の「関わりしろ」の可視化と受入体制について	町に関心を持った外部の個人や事業者に対し、町の課題や資源といった「関わりしろ」を見えるようにし、関わり方のメニューを提示する仕組みが必要と考える。ふるさと住民登録制度や関係人口施策との連動も含め、町の考えを伺いたい。	町長
9 プレスリリースの送付状況	(1) 町では、昨年末よりオンラインでのプレスリリース配信サービスを試験的に利用開始している。現在の利用プラン、運用体制、これまでの反響（ページビュー、報道機関による取材件数、問い合わせ件数の増減等）を伺う。	町長

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
9 プレスリリースの 送付状況	(2) 町は通常のプレスリリースとして、岩手県内の主要な報道機関への投げ込みを行っていると認識している。これを秋田県の報道機関や、岩手県内のタウン情報誌等メディア等にも拡大してもいいのではないか。	町 長